

第2章 那須塩原市の概要

1 自然環境

(1) 地理的環境

本市は栃木県の北部に位置し、東京都から150 km圏、宇都宮市からは約50 kmの距離にあり、広大な那須野が原の北西一帯を占めています。

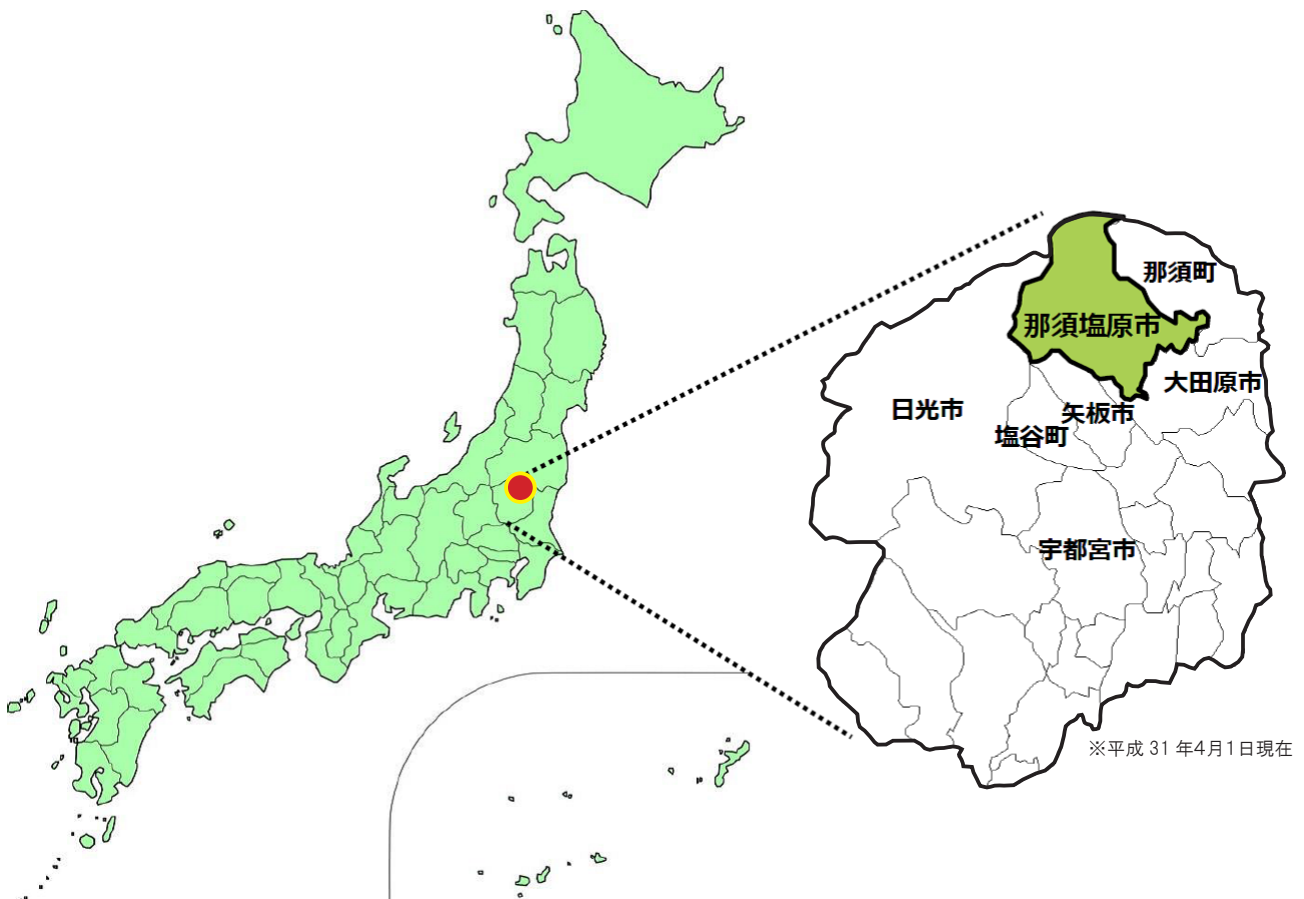
市の面積は592.74 km²で、西部に高原山、北部に大佐飛山や那須連山の最高峰三本槍岳などの山岳部があります。面積の約半分を占める山岳部は日光国立公園を形成し、塩原温泉郷と板室温泉、三斗小屋温泉の温泉地を有し、初夏の新緑、秋季の紅葉など四季折々の多彩な表情を持っています。

市域の南東部は、那珂川や箒川などにより形成された緩やかな傾斜の平地が広がる複合扇状地であり、扇中央部には本州有数の酪農地帯、扇端部には田園地帯が広がっています。

標高は、最高地点が三本槍岳山頂の1,917 m、最低地点は最南部の約210 mとなっており、約1,700 mの標高差があります。

また、市域を南西から北東にかけてJR東北新幹線、JR宇都宮線、東北縦貫自動車道及び国道4号の幹線道が縦貫しており、JR西那須野駅、JR那須塩原駅、JR黒磯駅を中心に市街地が広がっています。

■ 那須塩原市の位置



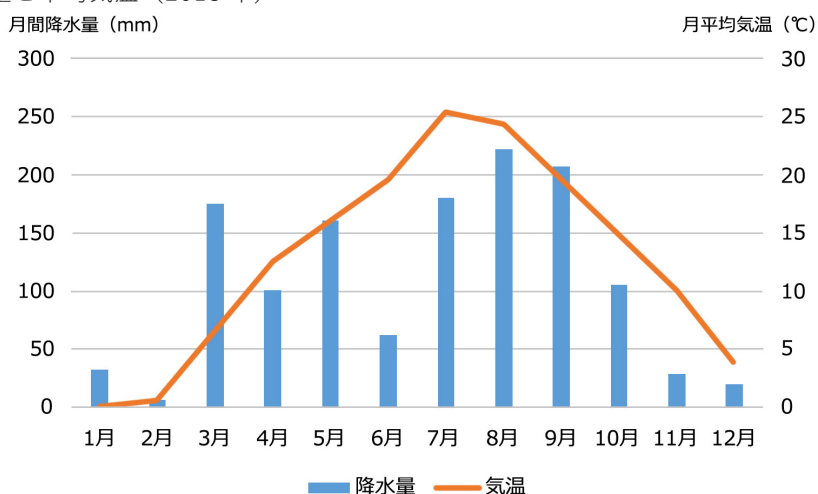
(2) 気候

本市は、高原性の冷涼な気候であるといわれていますが、平成30年(2018)の年間平均気温は12.9℃、最高気温は7月と8月に35.1℃を記録しました。一方、最低気温は1月に-5.3℃が記録され、夏季と冬季の寒暖差は40℃以上あります。

降水は夏季に多く、近年の年間降水量はおおむね1,200mm～1,900mmで推移しています。夏季には雷雨の発生が多いのも特徴です。冬季には山地を中心に積雪があり、4月下旬でも一部の地域には残雪が見られます。

また、那須野が原では、冬季に「那須おろし」と呼ばれる北西からの強い季節風が吹き、倒木などの被害が出ることもあります。

■ 降水量と平均気温 (2018年)



※気象庁ホームページ

■ 平年値 (統計期間：1981～2010の30年)

	降水量 (mm)	平均気温 (°C)	日最高気温 (°C)	日最低気温 (°C)	平均風速 (m/s)	日最大瞬間風速 (m/s)
1月	31.5	0.6	5.4	-4.2	2.2	23.1
2月	39.0	1.2	6.1	-3.7	2.4	28.6
3月	80.1	4.3	9.7	-0.9	2.5	24.9
4月	110.9	10.1	15.9	4.2	2.4	22.5
5月	140.6	15.0	20.5	9.5	2.1	25.8
6月	173.4	18.7	23.4	14.4	1.7	18.0
7月	238.4	22.2	26.8	18.6	1.5	19.8
8月	247.7	23.5	28.4	19.8	1.5	19.8
9月	229.5	19.7	24.3	15.9	1.7	22.0
10月	136.4	14.0	18.9	9.2	1.9	32.7
11月	74.2	8.1	13.5	2.8	1.9	21.5
12月	35.0	3.1	8.4	-1.9	2.1	20.5
年	1526.1	11.7	16.8	7.0	2.0	

※気象庁ホームページ (観測地点：黒磯)

(3) 河川

那珂川は、栃木県最北の三本槍岳を源として、那須連山の西側を迂回し、板室地点から扇状地を形成しつつ南東に流下し、支川の余笹川、湯坂川、箒川を合流していく延長 150 km、流域面積約 3,270 km²の一級河川です。

上流域は日光国立公園に指定され、良好な自然環境を形成しています。また、豊かな森林は水資源の涵養地となっており、一部は水力発電に供されています。

箒川は、市内の白倉山を源として、那須扇状地を東南に流下し、大田原市佐良土で那珂川に合流する延長 47.6 km、流域面積約 530 km²の一級河川です。上流域（塩原地区）は日光国立公園を含む山地で、山間を流れる渓谷美を形成しており、中下流域は険しい山地から那須扇状地へと変わり、沖積地を形成しています。

箒川の支流である蛇尾川と熊川は、那須扇状地のほぼ中央部を流れていますが、通常時は扇状地内では水は伏流し、水無川となっており、特徴的な景観を形成しています。

■ 那須塩原市の河川



※国土地理院標準地図を加工して作成

2 市の沿革と歴史

(1) 変遷

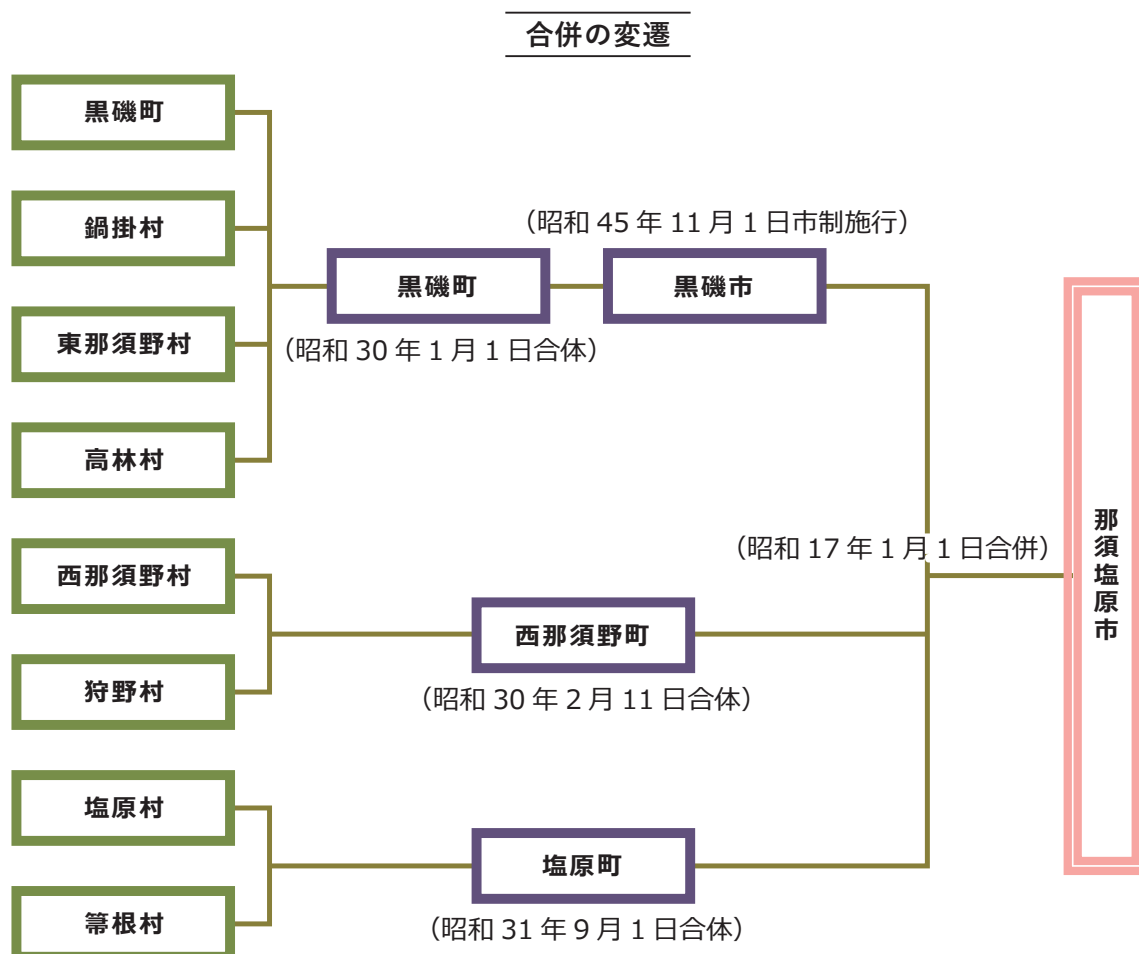
明治22年(1889)の町村制の施行により、本市の基礎となる高林村、鍋掛村、東那須野村、西那須野村、狩野村、塩原村、箒根村が誕生しました。また、明治45年(1912)に、東那須野村からの分立により黒磯町が誕生しました。

大正8年(1919)には塩原村が町制施行により塩原町となり、昭和7年(1932)には西那須野村が町制施行により西那須野町となりました。

昭和時代に入り、1950年代に進められた「昭和の大合併」により、昭和30年(1955)に黒磯町・鍋掛村・東那須野村・高林村が合併して黒磯町が誕生し、西那須野町と狩野村が合併し、西那須野町が誕生しました。翌年の昭和31年(1956)には、塩原町と箒根村が合併し、塩原町が誕生しました。

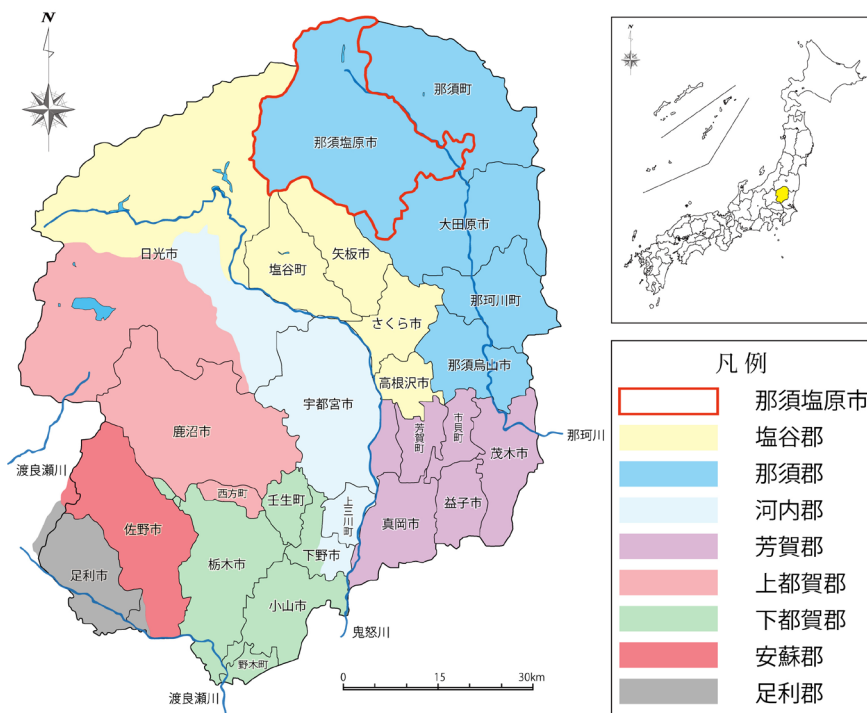
また、昭和45年(1970)には黒磯町が市制施行により黒磯市となり、昭和57年(1982)には塩原町が塩谷郡から郡界変更により那須郡となりました。

平成時代に入り、2000年代に進められた「平成の大合併」の中、平成17年(2005)1月1日、黒磯市・西那須野町・塩原町の3市町の合併により、本市が誕生しました。



※昭和31年9月30日までの新設合併は「合体」という言葉が用いられていた

■ 栃木県行政分布及び旧郡界



■ 那須塩原市の旧行政区分



(2) 歴史

本市の歴史概要について、指定文化財を軸とした略年表を以下に示します。

時代	那須塩原市の出来事		那須塩原市の文化財	
旧石器 縄文 弥生 古墳		槻沢・井口・寺子・金沢・上塩原ほかに人が住み、集落が営まれる	中期～後期 中期 中期	槻沢遺跡（市指） 深鉢形土器〈残欠共〉（国指） 槻沢遺跡出土の縄文土器（市指）
飛鳥	646 679	那須国、下野国に編入され、那須郡となる 山本良章、嶽山神社を創建（伝）	679 708	嶽山箒根神社奥の院（本殿・他2社）（市指） 金沢の薬師堂（市指）
奈良・平安	806 1059 1089 1156 1178	塩原元湯で温泉が発見される（伝） 板室温泉が発見される 山本上総介家隆、鳩ヶ森城を築く（伝） 塩原八郎家忠が塩原ほかを領し八郎館を築く（伝） 塩原八郎家忠、塩原（要害）城を築いて移る（伝）	806 807 912 1018 1089 1178	新湯温泉神社（本殿）（市指） 塩原八幡宮（本殿）（市指） 金沢の箒根神社（本殿）（市指） 塩の湯温泉神社（本殿）（市指） 鳩ヶ森城跡（市指） 塩原（要害）城跡（市指）
鎌倉・室町	1185 1193 1312 1397 1408 1410 1461 1476 1543 1544	黒館五郎、磯勝光らが黒磯を開く（伝） 源頼朝が那須野一帯で大規模な巻狩りを行う 妙雲寺開山 茶臼岳噴火 茶臼岳噴火 茶臼岳噴火、死者180人 大館弾正義則、野沢（真木）城を築く（伝） 小山伊勢守が塩原を領有（伝） 大田原城が落成し関谷・上大貫の城蹴舞起る 天文13年8月、箒川右岸の光明寺流される（伝）	1189 年不詳 1333 年不詳 1356 1380 1441 1445 1461 1476 1482 1518 1519 1528 1545 年不詳	境の紅葉（市指） 嶽山箒根神社高清水（遙拝殿）（市指） 木の俣地蔵（市指） 上厚崎の板碑（市指） 絹本著色羅刹天（県指） 関根の板碑（市指） 離室城跡（市指） 上塩原の箒根神社（本殿）（市指） 福渡温泉神社（本殿）（市指） 野沢（真木）城跡（市指） 狭間城跡（市指） 引久保百観音及び三尊仏・引久保百観音堂棟札（市指） 温泉神社石幢（県指） 黒磯郷所領安堵状（市指） 塩原八幡宮棟札（市指） 上大貫の城蹴舞（市指） 上黒磯の板碑（市指）
安土 桃山	1590 1600	那須総領資晴改易 徳川家臣水谷勝俊、鍋掛に宿営 接骨木堀（墓沼用水の前身）完成	1598 1600 1604	茗荷温泉神社（本殿）（市指） 関谷の城蹴舞（県指） 鍋掛の一里塚（市指）
江戸	1627 1629 1645 1646 1647 1652 1658 1659 1672 1683	奥州街道整備（このころ鍋掛宿開設） 宝永6年、箒川洪水（伝） 原街道（氏家～白河）が開通 越堀宿が開設される 巻川用水が開かれる 承応元年、箒川洪水（伝） 新田開発のための長島堀完成 万治2年、那須地方大地震 塩原元湯80余戸家々埋まる 死者11名 白湯山大権現開基 天和3年、戸板山崩れ、五十里湖出現	1687	畑下温泉神社（本殿）（市指）

※（伝）は伝承として残る出来事

時代	那須塩原市の出来事	那須塩原市の文化財		
江戸	1689	芭蕉、陸奥に向かう途次、野間にて馬子に短冊を与える(伝)		
	1695	会津中街道(氏家～会津若松)開通	1695? 下大貫の一里塚(市指) 1695? 横林の一里塚(一対)(市指) 1695? 笹野曾里東・西の一里塚(一対)(市指) 1695? 板室本村の一里塚(市指) 1695? 接骨木の一里塚(市指) 1695? 西富山の獅子舞(市指) 1702 下厚崎の獅子舞(市指)	
	1713	下塩原村誕生(福渡、塩釜、塩の湯、畑下、門前、古町)	1714 板室温泉「温泉記」(市指) 1720 城主安全碑(市指) 1721 木造菅原道真坐像(市指) 1725 石林の道標(市指) 1727 板室本村の銅造大日如来坐像・寺子の地藏尊(市指) 1731 妙雲寺の塩溪文庫(旧閻魔堂)・妙雲寺の薬師堂(市指) 1740 妙雲寺(本堂)(市指) 1741 上塩原古代獅子舞(市指) 1743 上黒磯の阿弥陀堂(市指) 1757 大輪地ヶ原絵図(市指) 1770? 穴沢用水水神祭絵図(市指)	
	1770頃 1771	穴沢用水(旧木ノ俣用水の前身)完成 藁沼用水が石林から大田原まで延長	1775 妙雲寺(宮殿)(市指) 1778 穴沢用水普請供養塔(市指)	
	1783	那須地方を大飢饉が襲う(天明の大飢饉)	1789 数ヶ室の郷蔵(市指) 1792 黒瀧山大日尊(市指) 1808 芭蕉の句碑・東小屋村全図(市指)	
	1810	代官山口鉄五郎が山口堀開削(新田開発)	1816 高尾塚碑(市指) 1827 板室温泉神社本殿(市指)	
	1830	大田原宿の商人若林善兵衛が南郷屋付近を開墾	1836 板室本村の湯本道標(市指) 1837 菊地家市十郎百歳長寿文書(市指)	
	1843	杉渡土出身の高久霧厓死去	1848 関谷常夜灯(市指) 1850 九尾の狐大絵馬(市指) 1854 薬王寺の算額(市指) 1855 旧津久井家住宅・穴沢の獅子舞(市指)	
	1868	戊辰戦争(板室の戦い・三斗小屋の戦い) 石林村・塩原村・板室村ほか戦火で焼かれる	1868 板室古戦場(市指) 年不詳 塩原温泉元湯古絵図・本郷町の馬頭観世音・室井家の四脚門・三本木の獅子舞・高久霧厓の墓・関谷囃子・木造白衣観音坐像・三斗小屋宿跡・黒羽領境界石(市指)	
	明治	1880	三島通庸ら肇耕社(後の三島農場)を開設	1868 大政官壱朱金札印刷用銅版(市指) 1877 遅沢ばやし(市指) 1878 千本松の観象台(市指)
		1880	印南文作・矢板武ら那須開墾社を開設	
		1881	加治屋開墾場(後の大山・西郷農場)・青木農場・佐野農場等発足	1881 親王台(市指)
		1882	那須原飲用水路(細竹～千本松)が完成	
		1884	新陸羽街道(国道4号)・塩原街道開通	
		1885	那須疏水通水	1885・1905 那須疏水旧取水施設(国指)
		1885	那須開墾社及び加治屋開墾場地域に那須野村誕生	1885 那須疏水旧蛇尾川伏越出口(市指)
		1885	毛利(豊浦)農場発足	1885 鑿道八景(市指) 1885 品川弥二郎の旧念仏庵(市指)
		1886	宇都宮～黒磯間の鉄道開通(西那須野駅・黒磯駅開業)	1886 印南文作翁屋敷跡(市指) 1888 旧青木家那須別邸(国指) 1888 常盤ヶ丘(市指)

時代	那須塩原市の出来事		那須塩原市の文化財	
明治	1889	町村制施行により東那須野村・鍋掛村・高林村・西那須野村・狩野村・塩原村・箒根村誕生	1892	乃木希典那須野旧宅（県指）
	1893	新木ノ俣用水完成	1898	印南丈作の頌徳碑（市指定）
	1898	東那須野駅開業	1900	麩沼用水旧取水口（市指）
	1904		1904	鶏鳥神社の絵馬（市指）
昭和	1908	西那須野～大田原間に那須人車軌道開通	1905	旧塩原御用邸新御座所（県指）
	1912	黒磯町誕生（東那須野村から分離独立）	1905?	大山記念館洋館（県指）
大正	〃	関谷～西那須野間に塩原軌道が開通	年不詳	原街道絵図・戸長役場印・芦屋道満の解脱塔（市指）
	1914	黒磯～那須間に乗合自動車が運行開始	1913	三島通庸の肖像画（市指）
	1916	乃木神社創建	1915	木綿畑新田の太々神楽（市指）
			1915	乃木神社本殿（国登録）
			1915	乃木神社拝殿（国登録）
			1916	乃木神社のシダレザクラ（市指）
	1918	西那須野～黒羽間に東野鉄道が開通	1916	大山参道のモミジ並木（市指）
			1917	上塩原源太踊り（市指）
	1919	塩原村が町制施行により塩原町となる	1917	高木会館（国登録）
	1922	塩原軌道、新塩原まで延長し電化する（同年塩原口まで延長）	1918	高林村道路元標（市指）
1919			高林村道路元標（市指）	
1919			黒磯町道路元標（市指）	
1919?			加登屋旅館本館（国登録）	
1922	塩原軌道跡「塩原口」駅舎跡（市指）	1922	塩原軌道跡「塩原口」駅舎跡（市指）	
1922		1922	三島弥太郎の肖像画（市指）	
1923		1923	御野立所跡碑（山頂）（山麓）（市指）	
1923		1923	摂政宮殿下御野立所跡（市指）	
昭和	1931	黒磯駅前大火	1927	金乗院奥の院地藏堂（市指）
	1932	5代目晩翠橋架橋（後の日本土木遺産）	1937?	加登屋旅館別館（国登録）
	1942	那須野陸軍飛行場開設	1952?	加登屋旅館悠仙閣（国登録）
	1945～	戦後の開拓団発足		
	1947	多くの大農場が解体される		
	1950	塩原町が日光国立公園の一部に指定される		
	1955	黒磯町・鍋掛村・東那須野村・高林村が合併（黒磯町）	1973	かそのジサマ（市指）
	1955	西那須野町と狩野村が合併（西那須野町）		
	1956	塩原町と箒根村が合併（塩原町）		
	1966	新木ノ俣用水隧道事故		
1970	黒磯町市制施行			
1973	深山ダムができる			
1974	東北自動車道矢板～白河間開通（西那須野塩原 IC 開設）			
1982	東北新幹線開通（那須塩原駅開業）			
平成	1998	那須水害		
	2005	黒磯市・西那須野町・塩原町の合併により那須塩原市誕生		
	2009	東北自動車道に黒磯板室 IC 開設		
	2011	東日本大震災		

※「那須塩原市の文化財」に加筆